

式典音楽隊の構成について(案)

1 式典音楽隊編成に当たっての基本的な考え方

当日や合同練習・リハーサルへの参加などを考慮し、県西部地域を中心にできる限り幅広い範囲、年齢層に参加していただく。また、開催地関係者にも参加を呼びかける。

2 音楽隊の構成

(1) 吹奏楽

規模	
140人～150人程度 (今後調整していく)	<ul style="list-style-type: none">過去に全日本吹奏楽コンクール中国大会（高校Aまたは小編成）に出場実績のある高校を主体とする編成とする。※ 練習のしやすさ等も考慮し、米子市内の高校を対象とする。開催地（南部・伯耆・江府町）中学校の吹奏楽部員も参加

(2) 合唱

規模	
120人程度 (今後調整していく)	<ul style="list-style-type: none">県西部地域の合唱団の合同編成団人数が足りなければ、中部・東部からも選抜する。演奏する楽曲によって編成を考える。 (児童、生徒、大人も含めた編成)

(3) オーケストラ（弦楽器）

20人程度の編成とする。

【参考】

式典行事計画の基本方針（「第64回全国植樹祭基本計画 第2章式典行事計画」より）

- ①大会テーマ「感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ」を、参加者や全国の人々に分かりやすく伝え、魅力あるふるさと「とっとり」を支える豊かな自然や森林の役割を発信します。
- ②「森は海の恋人」と云われるように、きれいな海を守るためには豊かな森が必要であるという、森・川・海のつながりを表現します。
- ③豊かな自然に囲まれた大山の雰囲気を活かして、鳥取の自然の魅力や歴史、文化、産業を全国にアピールし、「また鳥取に行きたい」と感じてもらう構成とします。
- ④環境に配慮された手作りの式典とします。
 - ◇「とっとり共生の森」参加企業等環境先進企業、NPO、多様なボランティアによる協力。
 - ◇式典を通じて排出されたCO2を、鳥取県が認証取得したJ-VERで相殺します。
- ⑤多様なボランティア、子ども達、高齢者、障がい者など多くの県民や、大会に賛同いただいた企業等が参加できるよう配慮し、県内緑の少年団等の協力を得ながら、鳥取らしく来場者を温かくおもてなし、歓待します。
- ⑥司会者、式典進行介添え役、式典音楽隊、アトラクション等の出演者及び演出家等については、地元をはじめ、県内関係団体等の積極的な協力と参加を得て編成します。